



日本音楽表現学会第17回（かきつばた）大会特集

	目 次	
【巻頭言】宮城道雄の夢と現在 ^{いま}	安藤 珠希	2
日本音楽表現学会第17回（かきつばた）大会報告		3
2019年度総会報告		3
第17回かきつばた大会を終えて	国府 華子	11
参加者の声：「かきつばた大会」を終えて	疇地 希美	11
第17回（かきつばた）大会に参加して	多田 純一	11
新たなステージ—参加者として、発表者として—	新保 江美	12
はるばるきぬる大会	武田 侑子	12
大会スナップ集（グラビア）		13-16
新入会員紹介		17
日本音楽表現学会後援コンサート等情報		18
会員による新刊・CD等リリース		20
書籍紹介『翻訳できない世界のことば』	奥 忍	20
理事会からの重要なお知らせ		21
事務局からの重要なお知らせとお願い		21
日本音楽表現学会第18回（ペガサス）大会のご案内		24
2019年度役員・委員等一覧		24
編集後記		24

日本音楽表現学会



所在地：〒616-8025 京都市右京区花園土堂町1-6

事務局：同上

Tel. 075-462-1388

E-mail: music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/>

年会費：5,000円

振込先：郵便振込口座 01370=6=78225 日本音楽表現学会

宮城道雄の夢と現在^{いま}

安藤珠希（箏曲・音楽教育／総務担当理事）

去る6月15、16日に愛知教育大学において「かきつばた大会」が開かれ、200名を超す参加者でにぎわった。後藤ひとみ学長、新山王政和実行委員長、国府華子実行委員会事務局長をはじめ、大会の開催にご尽力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

刈谷は大会の愛称にもなったカキツバタが有名で、市の花にも指定されている。箏曲にも『伊勢物語』在原業平の「東下りの段」に基づく曲があるが、個人的には「宮城道雄の供養塔がある場所」という結びつきの方が強い。宮城は昭和31（1956）年6月25日未明、東海道線の寝台急行「銀河」で大阪へ向かう途中、刈谷駅近くで転落、運ばれた先の病院で亡くなった。現在、東京－大阪間は新幹線で約2時間半、飛行機では約1時間で行けるが、当時は列車で一晩かけて移動していたのである。

かきつばた大会の1週間後、宮城と活動を共にした尺八演奏家の一門による演奏会に同輩と賛助出演する機会があった。もう長年出演させていただいているが、複数曲演奏する上に替箏・替三味線^註の準備、自分が演奏する曲でなくても替箏の調整など同輩が演奏するときの舞台袖での待機などもあり、毎回1日がかかりである。楽屋と舞台を何度往復したことであろう。とはいえ、そんな慌ただしい本番中でも少しほっとできる時間がある。今年はなぜかドラえものの「暗記パンが欲しい」という話になった。演奏は暗譜で行うことになっているため、演奏準備の多くを占める暗譜作業にける時間をなるべく少なくしたいからである。「楽譜1ページでパン1枚だとそんなに食べられない」「縮小コピーすればいい」「小さくて見えないのでは？」などと話していると、「どこでもドアが欲しい」「ついでにスモールライトも欲しい」「いや、やはり四次元ポケットが」ということになった。展覧会や演奏会は美術制作者や作曲家がその場になくても成り立つ。しかし、演奏者は生演奏をする限り自身が移動しなければならない。180cm超約12kgある箏の他に付属品、衣装を運ぶのは正直大変であるが、どこでもドアがあれば「ドア to ドア」で運べるし、国際線飛行機で運ぶ際の超過料金も要らない。移動時間も考えなくてすむので、同じ日に北海道と沖縄で演奏が可能になる。が、考えてみれば、宮城が全国を飛び回って演奏していた時代と比べれば、新幹線もできて飛行機にも気軽に乗ることができる。もし宮城が現在に生きていたら、「半どこでもドア」のように感じるのかもしれない。

「箏を担いで世界中を回りたい」というのが宮城の夢だったらしい。しかし、海外演奏に出かけたのは生涯で一度だけであった。昭和28（1953）年、1ドル＝360円、南回りの飛行機で2日かけてヨーロッパへ行く時代である。フランスとスペインで行われた国際民族音楽舞踊祭に日本代表として参加、その後渡ったイギリスでは即興的に作曲された《ロンドンの夜の雨》がBBCから放送された。

私もまた、一人でも多くの方々に生の「絹糸」の箏の音を聴いてほしい、と思い、時間の許す限り演奏している。普段の旅行では行けないような場所を含め、海外にも多く出かけてきた。海外での演奏を終えて成田空港に到着し、手荷物受取所へ向かうエスカレーターまで来ると、英語、中国語、韓国語で「ようこそ日本へ」、そして日本語で「おかえりなさい」と書いてある。この「おかえりなさい」という「ひらがな」の温かさにふれると、やっと「帰ってきた」と実感するのである。

会員の皆様の中には、年次大会でしか会わない方もいらっしゃるかもしれない。しかし、年次大会では毎年「おかえりなさい」と感じるような温かい大会であり続けてほしいと思っている。

注) 「替箏・替三味線」は演奏直前や演奏中に絃が切れた時に交換するためのスペア楽器を指す。

日本音楽表現学会第17回（かきつばた）大会報告

2019年度総会報告

日時：2019年6月15日（土）15:30～16:30

場所：愛知教育大学第2共通棟431教室

0. 開会前に会員数、『会則』による定数および出席者数と委任状の枚数を明確にした上で、総会の成立を確認した。

6月15日現在の会員数：599名	定数：200名	出席者数：78名	委任状：346通
------------------	---------	----------	----------

1. 開会の辞

後藤丹会長より開会の挨拶があった。

2. 議長・記録選出

議長に安藤政輝会員、記録に大竹紀子会員が選出された。

3. 報告

1) 2018年度事業報告について

舟橋三十子事務局長より【資料1】に基づき報告があり、承認された。

【資料1】

(2018.04.01～2019.03.31)

第16回（折り鶴）大会	2018.06.9-10	於：広島文化学園大学
2018年度理事会 第1回（新旧合同）	〃 06.10（日）17:00-18:00	於：広島文化学園大学
第2回	〃 12.03（日）10:00-17:00	於：京都テルサ第7会議室
第3回	2019.03.10（日）10:00-17:00	於：京都テルサ第3会議室
第4回	2019.06.14（金）16:00-	於：愛知教育大学（年度を跨いでいるため薄字）
第5回	2019.06.15（土）9:00-10:00	於：愛知教育大学（年度を跨いでいるため薄字）
その他、電子媒体による持ち回り会議		
編集委員会 第1回	2018.06.09（土）10:00-12:00	於：広島文化学園大学
第2回	〃 07.31（火）10:00-17:00	於：京都テルサ第3会議室
その他、電子媒体による持ち回り会議		
『音楽表現学』Vol.16 発行	2018.11.30（金）	
ニューズレター発行 No.1	〃 07.31（火）	
No.2	〃 11.30（金）	
No.3	2019.03.31（日）	
『会員名簿2018年版』発行	2018.11.30（金）	
『同（訂正・追加）』	2019.03.31（日）	
第17回かきつばた準備打ち合わせ	2018.06.27（水）	於：愛知教育大学
表敬訪問	〃 11.14（水）	於：愛知教育大学
1頁ちらし発行	〃 11.30（金）	
4頁ちらし発行	2019.03.31（日）	
事務局引継ぎ・打ち合わせ	2018.07.08（日）	於：学会事務局
財務局引継ぎ・打ち合わせ	〃 07.29（日）	於：宮城教育大学
会計監査	2019.06.06（木）	
*後援 16件（目標値35件）		

2) 折り鶴大会決算報告について

海津幸子財務局長より【資料2】に基づき報告があり、承認された。

【資料2】

【収入】	費 目	金 額	備 考	予 算
大会参加費		858,000	学会員：5,000円×157名=785,000円 当日会員（一般）：3,000円×23名（延べ数）=69,000円 （学生）：2,000円×2名（延べ数）=4,000円	860,000
広告・ブース料		219,460		100,000
『大会要項』販売		0	一部300円	0
雑収入		0		0
小 計		1,077,460		960,000
一般会計から補助		230,874		418,000
合 計		1,308,334		1,378,000

【支出】	費 目	金 額	備 考	予 算
	基調講演講師謝礼	0	講師：原田宏司氏会員のため講師料無料	0
	レクチャーコンサート	146,588	謝礼、著作権料を含む	160,000
	オープニング演奏経費	8,000	謝礼	8,000
	学生アルバイト謝金	165,230	820円(時給)×201.5h(学生15名)	180,000
	交通費補助	33,000	広島大学関係	—
	校舎施設使用料・ピアノ調律費	19,440		20,000
	機器技術者謝礼	6,128		—
	会議費	54,400	理事会・編集委員会・実行委員会1日目昼食代を含む	18,000
	大会事業経費	144,970	事務局スタッフ宿泊費、交通費、参事前日宿泊費、大会本部経費	250,000
	ポロシャツクリーニング代、腕章	42,644	32枚分	17,000
	『大会要項』等編集・印刷費・発送費	457,719	含・チラシ、ポスター	600,000
	通信・送付費	142,500		5,000
	表敬訪問費	80,088	交通費(含・打ち合わせ)、他	80,000
	事務用品費	902		5,000
	雑費	4,263	茶菓等	10,000
	振込手数料	2,412		—
	小 計	1,308,334		1,378,000
	一般会計へ繰り入れ	0		0
	合 計	1,308,334		1,378,000

懇 親 会

【収入】	費 目	金 額	備 考	予 算
	参加費	642,500		500,000
	合 計	642,500		500,000
【支出】	費 目	金 額	備 考	予 算
	懇親会費	642,500	立食プラン5,500×115、フリードリンクプラン2,000×5	500,000
	アトラクション	0		—
	合 計	642,500		500,000

3) 2018年度会計報告・監査報告について

海津幸子財務局長より【資料3】に基づき報告があった。應和恵子監事より、2018年度処理が適正に行われており会計報告に問題がないとの監査報告があり、承認された。

【資料3】

【収入】	費 目	決 算	予 算	備 考
	2018年度会費	2,421,000	2,900,000	5,000@×482、4,000×2、3,000@×1 *
	学会誌売上	62,398	40,000	19冊(送料含む)
	論文執筆のしおり売上	5,710	15,000	300円×17(送料含む)
	利息	19	50	
	大会会計から繰り入れ	0	0	
	雑収入	18,000	0	音楽表現学 Vol.16 超過負担金 9000@×2
	小 計	2,507,127	2,955,050	
	前年度繰越	3,049,082	3,049,082	
	合 計	5,556,209	6,004,132	

【支出】	費 目	決 算	予 算	備 考	
	『音楽表現学』	印刷費等	689,598	850,000	
	『音楽表現学』vol.1 復刻(20部)	印刷費等	62,662	100,000	
	ニューズレター No.1, 2, 3	印刷費等	84,181	140,000	
	名簿(偶数年度発行)	作成・印刷費等	136,230	220,000	(偶数年度発行)
	『論文執筆のしおり』	印刷費	39,722	40,000	
	理事会	会議費	55,156	50,000	
		交通費	430,748	400,000	
	編集委員会	会議費	29,113	20,000	
		交通費	208,490	200,000	
		英文タイトル校閲、査読	13,750	5,000	

デザイン室	備品費	104,284	150,000	プリンタ更新補助、用紙、HP 更新等 各種文書作成と校正作業
	役務費	66,418		
事務局費	会議費	0	5,000	
	交通費	111,468	10,000	
	通信発送費	249,079	300,000	
	事務用品費	205,168	200,000	
	役務費	95,420	40,000	宛名シール作成他、発送作業
選挙管理委員会 (奇数年度)	会議費	0	0	
	交通費	0	0	
	印刷費	0	0	
	役務費：発送作業	0	0	
学会基金積立		300,000	300,000	
払込手数料		4,968	5,000	
雑費		0	50,000	
大会補填経費		230,874	400,000	
予備費		0	100,000	
小計		3,117,329	3,585,000	
次年度繰越金		2,438,880	2,419,132	
合計		5,556,209	6,004,132	

*滞納徴収分が含まれ、前年度までの既納入分は除かれている。すなわち、年度中に納入された年会費延べ人数分である。

学会基金

【収入】	費 目	金 額	備 考
	2017 年度繰越金	3,981,786	
	2018 年度学会基金	300,000	一般会計から (学会基金積立)
	『音楽表現学のフィールド 2』	14,000	著者割引 2,800 円 × 5 冊
	利息	34	
	合 計	4,295,820	
【支出】	費 目	金 額	備 考
	次年度繰越金	4,295,820	
	合 計	4,295,820	

以上の通り報告いたします。

2019 年 5 月 27 日

財務 應和 恵子 ㊟ 海津 幸子 ㊟

監査の結果、以上に間違いありません。 2019 年 6 月 6 日

監査 渡会 純一 ㊟ 小畑 郁男 ㊟

4) 年会費納入状況について

海津幸子財務局長より【資料 4】について 2016 年度からの未納者を 9 名に訂正の上、2019 年 5 月 25 日現在における年会費納入状況について報告があった。

【資料 4】

(2019 年 5 月 25 日現在)

会員数	未納状況
596 名	2016 年度から 9 名
	2017 年度から 21 名
	2018 年度から 62 名

5) 『音楽表現学』の電子化について (進捗状況)

加藤富美子副会長より『音楽表現学』電子化の進捗状況について報告があった。J-STAGE への申込は 5 月 30 日に受付がなされ審査結果の通知を待っている。web 用電子化データを扱う JPC の見積もりでは 1 ~ 16 号計 88 件の論文の費用は約 30 万円。著作権、機関リポジトリとの関係などについて今後も理事会、著作権ワーキンググループ、編集委員会が検討していく。

6) その他

- ・著作権ワーキンググループ代表交代について

後藤丹会長より著作権ワーキンググループの代表が中村滋延氏から福本康之氏に交代することが報告された。

(○は代表)

2018年度：メンバー	近藤 晶子	酒井 勇也	高橋 豊	○中村 滋延	福本 康之
2019年度：メンバー	近藤 晶子	酒井 勇也	高橋 豊	中村 滋延	○福本 康之

4. 協議

1) 2019年度事業計画について

舟橋三十子事務局長より【資料5】に基づき提案があり、後援件数は20件が目標値であることを確認の上、原案どおり承認された。

【資料5】 2019年度事業計画

(2019.04.01～2020.03.31)

第17回(かきつばた)大会	2019.06.15-16(土・日)	於：愛知教育大学
理事会	2018 第4回	於：愛知教育大学
	第5回	於：愛知教育大学
	2019 第1回	於：愛知教育大学
	第2回	於：京都市内
	第3回	於：京都市内
	その他、電子媒体による持ち回り会議	
編集委員会	第1回	於：京都テルサ小会議室
	第2回	於：京都テルサ第3会議室
	その他、電子媒体による持ち回り会議	
『音楽表現学』Vol.17発行	2019.11.30(土)	
ニューズレター発行 No.1	〃 07.31(水)	
	No.2	
	No.3	
第18回大会表敬訪問	2019.10月-11月	於：新島学園短期大学
財務局会計監査	2020.4月	
*後援	20件(目標値)	

2) 第17回「かきつばた」大会予算について

海津幸子財務局長より【資料6】に基づき提案があり、学生の参加費を1,000円としたこと、校舎施設使用料等について説明の上、原案どおり承認された。

【資料6】 第17回「かきつばた」大会予算

【収入】	費 目	金額	備 考	折り鶴大会決算
	大会参加費	845,000	学会員：5,000円×155名=775,000円 当日会員：一般3,000円×20名=60,000円 学生1,000円×10名=10,000円	858,000
	広告料	250,000		219,460
	『大会要項』販売	5,000	1部500円×10	0
	雑収入	0		0
	一般会計より補填	295,376		230,874
	合計	1,395,376		1,308,334
【支出】	費 目	金額	備 考	折り鶴大会決算
	基調講演講師謝礼	0	講師：伊藤康宏氏(学会員)規定により	0
	対談	0	講師：田中昌司氏(学会員)規定により	コンサート146,588
	学会企画・サロン経費	75,000	講師：岡田加津子氏謝金・宿泊費・交通費	—
	オープニング演奏経費	15,000	謝礼(昼食代)	8,000
	学生アルバイトスタッフ謝金	162,000	900/h×180h	198,230
	校舎施設使用料	126,400		19,440
	機器技術者謝礼	0		6,128
	『大会要項』等編集・印刷費	500,000		457,719
	大会事業経費	150,000	事務局スタッフ宿泊費、交通費、参事前日宿泊費、大会本部経費、役務費等	144,970

会議費	50,000	理事会・実行委員会・参事昼食代(1日目)他	54,400
通信郵送費	150,000	大会要項等発送費を含む	142,550
表敬訪問費	122,976	交通費等	80,088
スタッフポロシャツクリーニング	30,000		42,644
事務用品費	3,000		902
弁当ガラ回収費用	3,000		—
雑費	5,000		4,263
振込手数料	3,000		2,412
合計	1,395,376		1,308,334

懇親会

【収入】	費 目	金 額 (円)	備考
	懇親会費	400,000	4,000円×100名
	計	400,000	

【支出】	費 目	金 額 (円)	備考
	懇親会費	400,000	立食プラン+ドリンク
	計	400,000	

3) 2019年度予算について

海津幸子財務局長より【資料7】に基づき提案があり、『論文執筆のしおり』増刷、通信・発送費、『音楽表現学』電子化等について説明の上、原案どおり承認された。

【資料7】2019年度予算

【収入】	費 目	2019年度予算	2018年度決算	備考
	2018年度会費	3,100,000	2,421,000	5000円×620名
	学会誌売上	65,000	62,398	20冊(送料込)
	『論文執筆のしおり』売上	6,000	5,710	300円×20
	利息	20	19	
	大会会計から繰り入れ	0	0	
	雑収入	0	18,000	
	小計	3,171,020	2,507,127	
	前年度繰越	2,438,880	3,049,082	
	合計	5,609,900	5,556,209	

【支出】	費 目	2019年度予算	2018年度決算	備考	
	『音楽表現学』Vol.17	印刷費等	720,000	689,598	
	ニューズレター No1,2,3	印刷費等	140,000	84,181	
	『会員名簿』	作成・印刷費等	0	136,230	偶数年度発行
	『論文執筆のしおり』	印刷費	50,000	39,722	50冊増刷
	理事会	会議費	60,000	55,156	
		交通費	550,000	430,748	
	編集委員会	会議費	30,000	29,113	
		交通費	350,000	208,490	第1回、第2回対面委員会
		タイトル校閲、査読	20,000	13,750	
	デザイン室	事務用品費	170,000	104,284	トナー・インク、用紙等
		役務費	80,000	60,418	校正、資料収集等
	事務局費	会議費	10,000	0	
		交通費	120,000	111,468	
		通信・発送費	290,000	249,079	
		事務用品費	220,000	205,168	封筒、用紙等
		役務費：発送作業	100,000	95,420	各種文書作成、発送作業等
	選挙管理委員会 (奇数年度)	会議費	10,000	0	【参考】2017年度 8,940
		交通費	30,000	0	26,220
		印刷費	30,000	0	28,290
		通信・発送費	100,000	0	2018年度まで事務局費で一括計上
		役務費：発送作業	50,000	0	3,920
	学会基金積立		300,000	300,000	
	払込手数料		6,000	4,968	
	雑費		10,000	0	
	大会補填経費		295,376	230,874	
	予備費		50,000	0	

小 計	3,791,376	3,117,329	
次年度繰越金	1,818,524	2,438,880	
合 計	5,609,900	5,556,209	

学会基金

【収入】	費 目	金 額	備 考
	2018 年度繰越金	4,295,820	
	2019 年度学会基金	300,000	一般会計から（学会基金積立）
	『音楽表現学のフィールド2』	14,000	売り上げ
	利息	34	
	合 計	4,609,854	

【支出】	費 目	金 額	備 考
	『音楽表現学』バックナンバー電子化	300,000	企画・調査費
	次年度繰越金	4,309,854	
	合 計	4,609,854	

4) 「日本音楽表現学会 会則」の改正について

澤田まゆみ総務担当理事より【資料8】に基づき提案があり、一部文言の修正を行った上で以下の通り承認された。

【資料8】「日本音楽表現学会 会則」

改 正	現 行
第8条 退会手続きおよび承認、除名、会員資格の喪失については、次の通りとする。 (3) 会員が死亡した場合には、その時点で退会したものとみなす。(新規)	第8条 退会の手続きおよび承認は、次の通りとする。
附則9. 2019年6月15日改正(追記)	

5) 「編集委員会規定」の改正について

澤田まゆみ総務担当理事より【資料9】に基づき提案があり、原案どおり承認された。なお「規定」ではなく「規程」が適切ではないかとの意見があったが、「規定」に統一することが確認された。

【資料9】「編集委員会規定」

改 正	現 行
第2条 本委員会は、次の事項を取り扱う。 (1) 機関誌『音楽表現学』の発行(原則として年1回以上)(句点削除) (2) 会員の研究論文、研究活動に関する記事等の機関誌への掲載(句点削除) (3) 機関誌に掲載する研究論文等の募集、および編集に関わる事項(句点削除) (4) 投稿原稿の採否の決定(句点削除) (「なお、」を削除) 機関誌に掲載予定の原稿については、執筆者との協議を通じて、内容の検討を求めることがある。	第2条 本委員会は、次の事項を取り扱う。 (1) 機関誌『音楽表現学』の発行(原則として年1回以上)。 (2) 会員の研究論文、研究活動に関する記事等の機関誌への掲載。 (3) 機関誌に掲載する研究論文等の募集、および編集に関わる事項。 (4) 投稿原稿の採否の決定。 なお、機関誌に掲載予定の原稿については、執筆者との協議を通じて、内容の検討を求めることがある。
第7条 委員会は、理事会およびデザイン室と協同して会務を遂行する。投稿規定に定める原稿種のうち、(5)～(9)の原稿は理事会から委嘱することができる。	第7条 委員会は、デザイン室と協同して会務を遂行する。
第9条 委員会は会務を遂行するため、必要に応じて専門委員若干名を委嘱することができる。	第9条 委員会は皆無を遂行するため、必要に応じて専門委員若干名を委嘱することができる。
第10条 投稿規定は別に定める。	第10条 投稿規程は別に定める。
附則1. 本規定は2003年5月30日から実施する。 7. 2019年6月15日改正(追記)	附則1. この規程は2003年5月30日から実施する。

6) 「日本音楽表現学会『音楽表現学』投稿規定」の改正について

澤田まゆみ総務担当理事より【資料10】に基づき提案があり、原案どおり承認された。

【資料10】「日本音楽表現学会『音楽表現学』投稿規定」

改正案	現行
<p>3. 原稿の種別（原稿種別(1)～(9)の後) 原稿は投稿によるものとする。ただし、(5)～(9)の原稿は理事会から委嘱することができる。</p> <p>附則12. 2019年6月15日改正（追記）</p>	<p>3. 原稿の種別（原稿種別(1)～(9)の後) 原稿は投稿によるものとする。ただし、(5)～(9)の原稿は学会から委嘱することができる。</p>

7) 「成果発表・研究会関係細則」の改正について

澤田まゆみ総務担当理事より【資料11】に基づき提案があり、一部文言の修正を行った上で以下の通り承認された。

【資料11】「成果発表・研究会関係細則」

改正	現行
<p>(4) 年次大会における研究発表は、基調講演、シンポジウム、パネル・ディスカッション等に関わる学会からの委嘱を除いて学会員によるものとする。発表を希望する者は、前年の12月15日までに入会申込みと年会費の納入を完了しなければならない。</p> <p>(5) 年次大会における筆頭発表は、学会からの委嘱を除き、<u>一人1件とし、筆頭発表者が申し込みを行うこととする。</u></p> <p>(6) 発表者は、4月30日までに当該年度までの年会費を、大会参加申込締切日までに大会参加費の納入を完了しなければならない。</p> <p>(7) 発表者は研究発表に際し、実演や当日の大会スタッフのみでは行えない機器操作等を必要とする場合に発表の協力を依頼することができる（「発表協力者」と呼ぶ）。発表協力者が必要な場合には、『大会要項』原稿提出締切日までに発表者が学会事務局に申請をする。発表協力者が非会員で該当発表以外にも参加を希望する場合は、当日会員として大会参加費を納入しなければならない。</p> <p>附則4. 2019年6月15日改正（追記）</p>	<p>(4) 年次大会における研究発表は、基調講演、シンポジウム、パネル・ディスカッション等に関わる学会からの委嘱を除いて学会員によるものとする。発表を希望する者は、前年の12月15日までに入会申込みと<u>学会費</u>の納入を完了しなければならない。</p> <p>(5) 年次大会における筆頭発表は、学会からの委嘱を除き、<u>1件とする。</u></p> <p>(6) 新規</p> <p>(7) 新規</p>

8) 「選挙管理委員会規定」の改正について

澤田まゆみ総務担当理事より【資料12】に基づき提案があり、原案どおり承認された。

【資料12】

改正	現行
<p>附則1. <u>本規定は2003年5月30日から実施する。</u></p>	<p>附則1. <u>本細則は2003年5月30日から実施する。</u></p>

9) 「選挙規定」の改正について

澤田まゆみ総務担当理事より【資料13】に基づき提案があり、原案どおり承認された。

【資料13】

改正	現行
<p>9. 役員任期は当該年度7月1日から始まるものとする。</p> <p>10. 役員に欠員を生じたときは、<u>理事会はすみやかにこれを補充する。その任期は前任者の残任期間とする。</u></p> <p>附則1. <u>本規定は2004年2月1日から実施する。</u> <u>2. 2010年6月12日改正</u> <u>3. 2012年6月23日改正</u> <u>4. 2019年6月15日改正</u></p>	<p>附則1. 役員任期は当該年度7月1日から始まるものとする。</p> <p>2. 役員に欠員を生じたときは、<u>就任の日から6カ月以内ならば次点者を繰り上げ当選とし、6カ月を越えた場合には、原則としてすみやかに選挙を行い、これを補充する。但し、その任期は前任者の残任期間とする。</u></p> <p>3. <u>本規定は2004年2月1日から実施する。</u></p> <p>4. <u>本規定は2010年6月12日から実施する。</u></p> <p>5. <u>本規定は2012年6月23日から実施する。</u></p>

10) 大会研究発表数増加への対応について

豊田典子会長諮問会議メンバーより「プログラム編成チーム」の新設および発表時間の割当作業について報告があった。発表時間のさらなる適正化とポスターセッションの導入について提案がなされ、承認された。

11) 編集委員会委員の委嘱について

舟橋三十子事務局長より8名の委員の委嘱について提案がなされ、承認された。

(再任) ◎水戸 博道、大竹 紀子、中 磯子、宮本賢二郎 (新規) 豊田 典子、長谷川正規、三島 郁、○渡辺 修身
--

12) 選挙管理委員会委員の委嘱について

舟橋三十子事務局長より3名の委員の委嘱について提案がなされ、承認された。

(再任) 大澤 智恵、樫下 達也 (新規) 田邊健太郎

13) 年会費滞納による除名処分について

舟橋三十子事務局長より、会則に基づき【資料14】の9名を会員名簿から削除することが提案され、承認された。

河村 祐子、熊谷百合子、清水 真美、富川 勝智、中野 繭子、 深澤 達央、村井 勇貴、安田 健太、鷲尾 惟子

14) 第18回大会開催期日と候補地と愛称について

舟橋三十子事務局長より次回大会について提案がなされ、承認された。澤田まゆみ実行委員会事務局長より説明があった。

期日：2020年6月13日(土)～14日(日) 会場：新島学園短期大学(群馬県高崎市昭和町53 JR北高崎駅より徒歩約3分) 愛称：ペガサス大会(仮) 実行委員会：委員長：吉田 秀文(群馬大学) 事務局長：澤田まゆみ(新島学園短期大学) 委員：瓜生 郷子(新島学園短期大学) 金山茉莉花(新島学園短期大学) 渋川ナタリ(東京藝術大学) 高木麻衣子(東京福祉大学) 林 智草(育英短期大学) 吉田 恵子(高崎健康福祉大学)

15) その他

- ・山名敏之副会長より大会開催期間における緊急事態発生時の対応について説明があった。
- ・安藤珠希総務担当理事より『音楽表現学のフィールド2』の購入について説明があった。
- ・学会ニューズレターについて、退会もしくは死亡した会員名を掲載するか今後検討することになった。

5. 閉会の辞

舟橋事務局長より総会への協力に対する感謝が述べられ、閉会となった。

第17回「かきつばた」大会を終えて

大会実行委員会事務局長 国府 華子



実行委員会カンパッチ

日本音楽表現学会第17回（かきつばた）大会を無事に終了できましたこと、心より感謝申し上げます。当日は教室の都合などでどうしても2つの建物を使用することとなり、外の移動があったため雨を心配して傘袋も準備しておりましたが、小雨程度でおさまり胸をなでおろしました。まさに皆さまの熱気が雨雲を吹き飛ばしてくださったものと確信しております。

愛知での開催が決定しましてから、かなり早い段階で日本音楽表現学会の本部役員のみなさまにも愛知教育大学まで足をお運びいただき、相談を重ねながら準備を進めて参りました。準備の段階で、嬉しい誤算がありました。学生たちにアルバイトの声掛けをしたのですが、普段でしたら喜んで手伝ってくれる学生から、「発表を聞きたいので」と断りの申し出があったのです。また当日手伝ってくれた学生たちも、少しの休憩時間を惜しんで要項片手にお目当ての発表会場に参加していたり、たまたま担当となった教室の発表について学生同士で報告し合っていたりと、様々な発表を深い関心をもって受け止めてくれていました。音楽にかかわる多彩な視点から語られる発表者の生の声が学生たちに響いたのだと、嬉しく感じた一幕でした。

学生たちにこのような新たな出会いを生み出してくれたのも、ここ、愛知教育大学での開催という機会を与えていただいたおかげであると改めて感謝申し上げます。このような若い力が新たな風となって今度は発信する側に加わり、日本音楽表現学会がさらなる豊かな出会いと発見をもたらす場になることを祈念して、かきつばた大会終了の挨拶ならびにお礼とさせていただきます。

参加者の声

「かきつばた大会」を終えて

疇地 希美（音楽教育）

音楽表現学会の全国大会が母校である愛知教育大学で行われる、しかも令和に入って最初の大会が！ということで、ここ数年チームを組んで一緒に活動しているくみらい堂メンバーと共同で研究発表をさせていただきました。メンバーは皆愛知教育大学大学院同窓生で、ここ数年一緒に取り組んできた絵本の音楽会のプロジェクトで得られた結果を発表することで、思いがけず平成時代の活動の総まとめをすることができました。参加者の皆様から様々なご意見・アドバイスをいただき感謝いたします。

また実行委員として参加したことで、改めてこの学会の面白さに気付かされました。研究の口頭発表が多様なテーマに富んでいるだけでなく、基調講演も異種混合戦を呈したエキサイティングなものであり、さらには各サロンでもディープな討論が繰り広げられ、どの部屋でも参加者の皆様が平等な立場で自由に意見を交わすことの可能な学会であることの素晴らしさを再認識いたしました。そして、実動部隊の学生さ

ん達は様々なトラブルが起きた時にも笑顔で自ら動いて下さり、とても心強い存在でした。実行委員スタッフの連携もスムーズで、大きな問題なく無事に乗り切ることができました。貴重な経験をさせていただいたこと、皆様に感謝申し上げます。

第17回（かきつばた）大会に参加して

多田 純一（ピアノ）

この学会の大会の特色は、音楽表現という広い領域を対象にしていること、演奏や音源などを多く用いている発表から音楽そのものを楽しめること、必ずしもアカデミックな内容でなくてよいこと、それぞれの専門分野で行われるサロンが実施されている点にあると考えている。私がこの学会の大会に参加したいという気持ちになるのは、これらの特色によるものなのだろう。

今年は、サロンの世話役と分科会の司会者として参加した。ピアノのサロンでは、今年はピアノの楽器論について高久新吾会員が発表され、その後、意見交

換が行われた。活発な発言と議論が交わされたのだが、高久氏はそのすべてに対応され、参加者も自身の知識や体験をサロンで共有することを楽しんでた。新たな知識を得ることや、自身が持っている情報を皆で分かち合う、理想的な場であったと思う。

また、今年から分科会では発表時間20分、質疑応答5分の枠が取り入れられた。司会を務めさせていただいた印象として、10分の質疑応答に答える自信がない方や、はじめて発表する方にお勧めである。30分の研究発表をするほどのネタがない私は、今回はこの枠を狙おうと決意を新たにした。

新たなステージ—参加者として、発表者として—

新保 江美（フルート）

初めての学会、リサイタルのそれとは全く異なる緊張感を抱えながら、愛知教育大学へ向かいました。しかしその思いも束の間、基調講演と対談、管弦打楽器のサロン、そして和やかな懇親会と、今までの環境では得られなかった有意義な時間を過ごすことができました。そして翌日、その余韻と不安と共に、いざ本番のステージへ。

今回の発表は、よこ笛「ファイフ」の教育的活用の可能性を探るまでの研究内容ではありましたが、質疑応答や発表後に、今後の研究への貴重なご意見ご感想を頂戴し、更なる研究意欲の高まりと、終演後のような充実感を得ることができました。

その後も様々な分科会に参加させて頂き、異なる研究分野や内容であっても、音楽、音楽表現、音楽教育に対する熱い思いなど、多くの共通点を感じることができました。学会デビューが発表デビュー、新たなステージへ導いて下さった皆様への感謝と共に、初心を忘れず、初志を貫き、研究を続けていきたいと思えます。

最後になりましたが、大会運営役員、学会役員、会員の皆様に心より御礼申し上げます。それでは次回、群馬、ペガサス大会で・・・

はるばるきぬる大会 武田 侑子（音楽教育）

知立駅に降り立てば、梅雨を感じさせる蒸した空気に包まれ、ああ、これが本州というものであった、と

にわかに思い出します。熱気に包まれたかきつばた大会の基調講演は、「音楽する脳と身体」ということで、脳科学の側面からみた音楽について。生命誕生に端を発し、「刺激に対する反応＝ストレス」という大原則から音楽の発生を丁寧に追っていく、壮大な内容でした。

続く対談においては、演奏時に脳はどのような活動をしているか、という話題の中で思考と感情がテーマに。感情とは何だろう、さらに感動とは何なのだろう、などと考え込んでしまいました。

大会1日目後半は恒例のサロンです。せっかくのこの時間を、誰かに何かを教えてもらうのを待つ時間にしてしまっていないだろうか、と自分の参加態度についてぼんやりと反省しながら、懇親会へと1日目は暮れていきます。

2日目の分科会では、基調講演からの影響か、何となく脳科学に関わる研究や分析的な内容に目がいつてしまいました。

普通科の公立高校で音楽を教える私にとっては、自分の引き出しに様々な音楽を貪欲に取り込んでいくことこそが日々のテーマです。音楽表現学会の発表の幅広さ、集う人々の多彩さにはいつも力を得ますが、今回も様々な出会いに恵まれ、帰途につきました。



新入会員紹介

個人情報につき削除しています。

個人情報につき削除しています。

日本音楽表現学会後援コンサート等情報

- 岡田 孝さん **40th Anniversary Memorial Recital**
私たちの女声合唱団コーロ・ソアーヴェ創設 40 周年記念演奏会
日 時：2019 年 6 月 15 日 (土) 14:00 開演
会 場：東兵庫県立芸術文化センター：神戸女学院小ホール
料 金：2,000 円
演奏者名：岡田孝 (音楽総監督・指揮)
曲 目：《火の国水の国の譚》、《生きる理由》全曲、《クラリネットとピアノのための第一狂詩曲》、その他
- 深井 尚子さん **深井尚子ピアノリサイタル 2019**
日 時：2019 年 6 月 15 日
会 場：東スタインウェイサロン東京・松尾ホール
料 金：一般 4,000 円
主 催：ブルンネン・ミュージック東京
後 援：オーストリア大使館、他
曲 目：ベートーヴェン：ピアノソナタ 作品 13「悲愴」、作品 57「熱情」、
チャイコフスキー：ピアノ三重奏曲 作品 50「偉大な芸術家の思い出に」
- 豊田 典子さん **歌の会★青い星が贈る世界の名歌 100 曲リクエストコンサート Vol.3**
日 時：2019 年 7 月 15 日 (月・祝)
会 場：大丸心齋橋劇場 (大丸心齋橋店北館 14 階)
料 金：2500 円
主 催：歌の会青い星
演奏者名：豊田典子 (ソプラノ) 中村展子 (ピアノ) 他
曲 目：花は咲く、歌劇「リナルド」より 私をなかせてください 他全 100 曲
- 山名 敏之さん **バッハ マニア 第 10 回バッハ流当世風**
日 時：7 月 21 日 (日)、7 月 28 日 (日) 両日とも 13:30 開場 14:00 開演
会 場：緑風舎 (和歌山市野崎)、クベット・ディ・ムジカ (大阪府岬町)
料 金：一般 3,000 円 学生 1,000 円

演奏者名：山名敏之、他

曲 目：J.S. バッハ：平均律クラヴィーア曲集 I -17 As、18 gis、II -17 As、18 gis、フランス組曲 第5番 ト長調 BWV 816、フーガの技法より「コントラプンクト第11番」、他

大木 美穂さん

第3回音楽をする人のためのメンタルトレーニングワークショップ

日 時：2019年8月4日(日) 10:00-11:45

会 場：東京音楽院(〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目11-20 伊土ビル202号室)

料 金：2000円

演奏者名：大木美穂(ファシリテーター)

曲 目：今回のテーマ：「モチベーション」と「集中力」

荒川 恵子さん

「天体と音楽」をテーマとした科学・音楽コミュニケーション～「地球を知ろう」～

日 時：2019年8月18日(日) 15:00開演、19日(月) 13:30開演

会 場：京都国立博物館平成知新館講堂

料 金：一般2000円、大学生・高校生500円、中学生以下無料

演奏者名：豊田典子(独唱)、内田博世(独奏と伴奏)、豊田秀雄(ヴァイオリン)、
荒川恵子(総合司会)、他

曲 目：C. ドビュッシー《雨の庭》、A. ドヴォルジャーク「ルサルカ」より《月に
寄せる歌》、G. ホルスト「惑星」より《火星》他

木下 千代さん

木下千代ピアノリサイタル

日 時：2019年9月27日(金) 19:00

会 場：いずみホール(JR環状線大阪城公園下車)

料 金：3500円

曲 目：ハイドン：ソナタ Hob.XVI/49、ベートーベン：ソナタ op.53「ワルトシュ
タイン」、シューマン：クライスレリアーナ op.16

久次米 祐江さん

AVE MARIA ～祈りのひととき

日 時：2019年10月13日 13:30開場 14:00開演

会 場：六本木シンフォニーサロン

料 金：一般3500円

演奏者名：久次米祐江(pf.)、他

曲 目：F.Schubert 作曲、F.Liszt 作曲、A. Piazzolla 作曲の AVE MARIA ほか

伊藤 亜希子さん

第20回伊藤亜希子ピアノリサイタル

日 時：2019年10月14日(月・祝) 14:00開演

会 場：函館市芸術ホール [ハーモニー五稜郭]

料 金：一般2000円 学生1000円

曲 目：ショパン＝リスト：6つのポーランドの歌より

ムソルグスキー：組曲「展覧会の絵」ほか

澤田 まゆみさん

澤田まゆみピアノリサイタル my favorites vol.6 In der Nacht (高崎と東京)

日 時：2019年10月18日(金) 19:00 2019年10月21日(月) 19:00

会 場：高崎シティギャラリーコアホール ヤマハホール

料 金：4,000円

曲 目：シューマン：クライスレリアーナ、クララ・シューマン：ノットウルノ Op.6-2
他 1990年代の作品3曲と西田直嗣による委嘱新作

日本音楽表現学会会員による新刊・CD等リリース

岡林典子さん他 「幼・保・小で役立つ絵本から広がる表現教育のアイデア」

一藝社、2018年8月31日 ISBN978-4-86359-181-3 定価2,500円(+税)

内容1章 子供の感性と表現力を豊かに育むために

2章 絵本から広がる表現活動36選

山名敏之さん他 CD シューベルト：フォルテピアノによる4手連弾作品全集

第1巻エキゾティシズムと対位法

演奏：山名敏之、他

収録曲：1820頃に制作されたローゼンベルガー製フォルテピアノ（6オクターブのオリジナル楽器）によるシューベルト4手連弾作品全集の第1巻（2枚組）、ハンガリー風ディヴェルティスマンD818、幻想曲D940、他

発売日：2019年4月7日

発売元：ALM RECORDS

価格：3,400円（税込）Amazon等で購入可能

備考：レコード芸術（特選盤）、朝日新聞（推薦盤）、音楽現代（推薦盤）、サライ（今月の推薦盤）

小川有紀さん CD 「Diptyque～フランス・オルガン音楽、再興の時」wwcc-7899

収録曲：C. フランク「幻想曲」ハ長調 Op.16、「前奏曲、フーガと変奏曲」Op.18、「祈り」Op.20、「コラル第1番」ホ短調、他、A.P.F. ポエリ、F. ブノワ等の作品

演奏：小川有紀（オルガン）

制作：ライブノーツ

発売日：2019年6月25日

発売元：ナミ・レコード

価格：2,500円+税

備考：レコード芸術（特選盤）、朝日新聞（推薦盤）、読売新聞（推薦盤）、ぶらあぼ誌（推薦盤）

【書籍紹介】 E.F. サンダース著 前田まゆみ訳 『翻訳できない世界のことば』

楽しい本に出会った。我々は日本の音楽について外国語で発表するときや論文を書くときにしばしばこの問題に直面する。それぞれの民族、文化には外国語に翻訳するとニュアンスが変わったり、想いが伝わらなかったりして「歯がゆく」感じることもある。本書を読むと、そのことを実感するとともに、それらのことばを生み出し、用いている人々への尊敬の念がフツフツと沸いてくる。

例えばスウェーデン語の *mångata*（モーンガータ）は「水面に映った道のように見える月明かり」を意味するらしい。静かで真っ暗、凍りつくような湖の幽かなさぎ波の上に一本の金色の道がどこまでも続いていく。ことばを声に出してみると、一瞬にしてその世界に惹き込まれる。

ズールー語の *ubuntu*（ウブントウ）は「あなたの中に私は私の価値を見だし、私の中にあなたはあなたの価値を見いだす」という意味で「人のやさしさ」を表すとされる。何と温かさに満ちたことばだろう。そのことばを発する人の瞳に魅せられてしまう。

韓国語の *눈치*（ヌンチ）は「他人の気持ちを密かにくみ取る、細やかな心づかい」と記されている。最近日本で流行の「村度」とニュアンスがずいぶん異なるではないか！

本書はイラストレータによる絵本で、研究書ではない。しかし、文化と感性、表現について想いを馳せてしまう刺激的な1冊である。

（奥 忍）

【創元社、ISBN978-4-422-70104-2、本体1,600円+税】

理事会からの重要なお知らせ

1) 事務局担当理事の交代について

2018年度事務局長として1年間ご活躍いただいた舟橋三十子さんをご都合により6月30日をもって小野亮祐事務局理事と職務を交代されることとなりました。小野亮祐さんには、2019年度より新事務局長に就任いただき、舟橋さんには引き続き事務局担当理事としての任務をお願いすることになりましたことをご報告いたします。

2) 学会誌の電子化について

学会誌『音楽表現学』は、このたび、J-STAGE 掲載誌として採択が決定しました。本年10月公開を目途に電子化を進めます。J-STAGE に掲載予定の既刊号の執筆者には、追って、掲載に関する諸手続きのご連絡をします。ご協力をよろしくお願いいたします。

事務局からの重要なお知らせとお願い

1. 年会費の納入について

(1) 年会費の納入期間：4月中にお願いします。

学会は皆様方の年会費で運営されています。期限内に納入がなければ、発表申し込みや原稿投稿ができません。また、その年度の総会までに3年滞納された方は、総会での審議事項、年会費滞納による除名対象者になります。無意識滞納にご注意いただきますと同時に、対策の一助として、納入後はただちに、「振替払込請求書兼受領証」(ATM ご利用の場合は「ご利用明細票」)に、納入年度をメモの上、保存されることをお勧めいたします。年会費をまだ納入されていない方はお急ぎください。

(2) 振込方法：同封のゆうちょ銀行青色の「払込取扱票」をご利用ください。

電信での送金は、内容確認が困難であり混乱の原因となります。学会では、財務局での入金確認作業を確実にするため、デザイン室で印字した郵便局の「払込取扱票」の利用をお願いしております。何卒ご協力ください。

振込先：振込口座 01370-6-78225

名 義 日本音楽表現学会

* 海外在住等、郵便局の払込取扱票利用が難しい方は、事務局へご相談ください。

(3) 領収書・請求書の発行：必要な方は事務局へ問い合わせを

領収書は原則として発行いたしません。「振替払

込請求書兼受領証」(ATM ご利用の場合は「ご利用明細票」)を領収書として保管ください。

大学研究費での引き落とし等、請求書・領収書の必要な方は事務局へお問い合わせください。財務局へ取次ぎ、発行手続きをいたします。

(4) 年会費減免措置について：自然災害等の被災による減免措置の制度

学会では、地震や洪水等、自然災害の被災によって年会費納入が困難な会員の年会費を減免する制度があります。必要な方は、HPから以下の書式をダウンロードし、申請ください。理事会に諮り、減免手続きをいたします。

「年会費減免願」書式 (20170321 版)：

被災による年会費減免願
年 月 日
日本音楽表現学会 会長 後藤 丹 様
このたび、(〇〇地震)被災により、(〇〇〇〇年度)年会費の納入免除をお願いいたしたく、減免願を提出いたします。
なお、(□□□□)年度分までの会費は納入済みですのでご確認をお願いいたします。
氏 名： _____
現在の連絡先： _____
連絡先電話番号： _____
e-mail アドレス： _____
減免申請の理由 (具体的に納付困難の理由をお記しください。)

2. 住所等、会員情報の変更：HPフォームにて速やかにお知らせを

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>

学会からの送付物は事務局本部で理事とスタッフが手作業で、お届けいただいた連絡先にお送りしています。しかしながら、転居先不明等で返却される封筒が少なからず存在します。そのたびに所属先や、時には入会時の「推薦者」に問い合わせを再送しています。このような手間と経費を削減するために、みなさまのご協力を切にお願い申し上げます。

3. 学会会員のサポート制度

(1) 機関誌『音楽表現学』への投稿

原稿の投稿には、会員資格と当該年度までの会費を完納していることが必要条件です。手続きには2～3週間かかります。その点ご確認ください。

『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記してください。

投稿締切は5月15日です。

(2) 大会での発表

本学会ならではの生の音楽表現を含めた研究発表の機会をご利用ください。応募締切は、2月15日です。会員が600名を超えているために、エントリー締め切り間際のリマインドメールは送りません。申込期日を明記してください。

4. 会員への情報公開

(1) ニュースレターへの投稿

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見など、ご寄稿ください。

- ・研究ノート、随想など：図表等を含めて刷り上がり1頁以内。

(2) コンサート等の後援・協賛

本学会HPのリンクから〔コンサート等後援／協賛申請フォーム〕にて事務局へ申請してください。確認後、事務局より「後援受理書」をお送りしますので、チラシやプログラムに学会名を掲載ください。また、HP及びニュースレターにも案内を掲載させていただきます。

[コンサート等後援／協賛申請フォーム]

以下の項目それぞれ1行で39字以内を原則とする。

(文例) 以下のコンサートの後援をお願いします。
会員氏名： _____
演奏会タイトル： _____
日 時： _____
会 場： _____
料 金： _____
出演者（会員）： _____
主な曲目： _____
問い合わせ先： ホール電話番号 _____
*個人の携帯番号・メールアドレスはセキュリティ上、 本会としてはHPには記載いたしません。

(3) 新刊案内・CD/DVD リリース

著者名（会員）、書名（ISBN）、出版社、価格（税込）、購入方法なども含めてお知らせください。ニューズレターとHPに掲載します。

(4) その他：隣接領域の研究會等情報などもお寄せください。

投稿受付は随時、ワードの添付書類で学会事務局宛にお願いします。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

5. 学会発刊の書籍の販売について

長らく絶版となっていたVol.1を復刻しました!

(1) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法：

メール等で事務局までお申し込みください。

以下の代金は、到着後郵便振替でお願いします。

Vol.	会員価格（1部）	一般価格（1部）
1～3	2,500円+送料	3,000円+送料
4～14	3,000円+送料	3,500円+送料
15以降	2,500円+送料	3,000円+送料

大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。

(2) 『音楽表現学のフィールド2』好評発売中

会員価格3,000円（税込・送料込）にて購入いただけます。

購入申込：メールで事務局までお願いします。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

送金：『フィールド2』に専用の払込取扱票を同封します。

加入者：日本音楽表現学会

口座：01370-6-78225

[購入申込書]

『音楽表現学のフィールド2』の購入を申し込みます。
氏 名： _____
部 数： _____
送 付 先： _____
連絡用 E-mail： _____

6. 入会手続きについて

- 入会申し込みは随時受け付けます。入会申込書は以下のフォーム、またはHPからフォームをダウンロードしてお申し込みください。
- 『音楽表現学』への投稿や大会での発表の申し込みには本会会員であることが条件です。手続きには時間がかかります。次年度の大会発表希望者、『音楽表現学』投稿希望者は、2019年12月15日までに会員資格を取得してください。
- 学会からの連絡（印刷物お届けなど）は、ご記入いただいた「連絡先」に届けます。
- お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。

[入会申込書フォーム]

入 会 申 込 書	
日本音楽表現学会に入会を申し込みます。	
年 月 日	
氏名（ふりがな）:	_____
専門分野:	_____
所 属:	_____
自宅住所:	〒 _____
連絡先: (上記と異なる場合) 〒	_____
連絡先 Tel.:	_____
e-mail:	_____
推薦者名 (学会員・1名)	_____

7. 退会手続きについて

退会には以下の3点が必要です。

- ① 「退会届」をHPからダウンロードし、事務局に提出
 - ② その年度までの年会費完納
 - ③ 理事会の承認
- 「退会願」を提出しないで、年会費を先延ばしにしていると「会則第8条」によって除名処分になります。仕事や私的な理由で残念ながら学会員を「これ以上続けることができない」と判断された場合には、必要な手続きを行ってください。

[退会願フォーム]

退 会 願	
年 月 日	
日本音楽表現学会 会長 後藤 丹 様	
このたび、日本音楽表現学会を退会したいので「退会願」を提出いたします。 なお、今年度分までの会費は納入済みですのでご確認をお願いいたします。	
氏 名:	_____
連絡先:	_____
連絡先 Tel.:	_____
e-mail:	_____
退会理由:	_____

イギリスで演奏表現に焦点をあてた学会 —SEMPREのご案内—

大会名: Society for Education, Music and Psychology
(SEMPRE) 秋季学会

期 日: 2019年11月7日～8日

会 場: Bath Spa University
(Newton Park, Newton St Loe, Bath BA2 9BN)
世界遺産バース市内 (下図参照)

分 野: 音楽教育・心理学会

テーマ: 演奏表現、コミュニケーションと学習

目 的: 演奏者はどのようにコミュニケーションを取って、演奏を行うのか、そしてそのような技術はどのように身に付けるのかという問題を中心に、演奏表現についての最新の研究を集め、論議し、また研究者同士の交流を促す。

ゲスト: Dr Renee Timmers, University of Sheffield
Prof. Amanda Bayley, Bath Spa University

内 容:

7日: Study Day (修士・博士課程の学生向)

参加者の研究発表

ゲストのワークショップ

8日: ゲストの招待講演

参加者のポスター・口頭発表

Dr. Timmers: 音楽学と心理学をバックグラウンドに持つ音楽心理学者で、表現豊かな演奏とは何か、演奏者間のコミュニケーションはどのように成り立つのかということについて実験心理学の手法を中心に研究。音楽と感情、音楽認知の研究で数々の著作あり。

Prof. Bayley: 様々な音楽文化のアンサンブル演奏を中心に研究。トルコ音楽について異文化音楽の習得研究の他、日本の箏曲学習の体験もある。

<https://www.bathspa.ac.uk/news-and-events/events/sempre-autumn-conference/>



日本音楽表現学会第18回（ペガサス）大会のご案内

会 場：新島学園短期大学（群馬県高崎市昭和町 53 JR 北高崎駅より徒歩約3分）

会 期：2020年6月13日（土）～14日（日）

実行委員会 委員長：吉田 秀文（群馬大学）

事務局長：澤田まゆみ（新島学園短期大学）

委員：瓜生 郷子（新島学園短期大学）

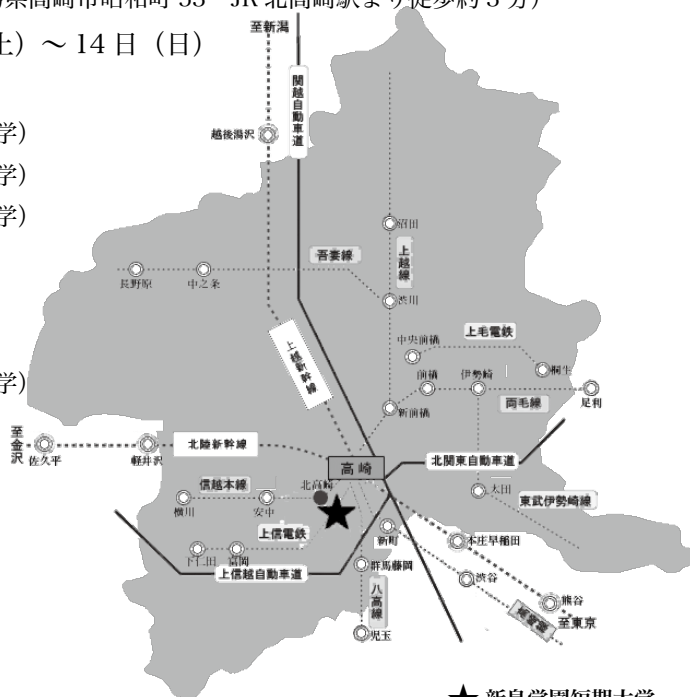
金山茉莉花（新島学園短期大学）

渋谷ナタリ（東京藝術大学）

高木麻衣子（東京福祉大学）

林 智草（育英短期大学）

吉田 恵子（高崎健康福祉大学）



★ 新島学園短期大学

会場への主なアクセス：

- ① 出発 / 中継地：首都圏方面、北陸方面共に
JR 上越・北陸新幹線「高崎」下車
- ② JR「高崎」から JR 信越本線「北高崎駅」下車
- ③ 北高崎駅北口から 徒歩約3分

【ペガサス】ギリシャ神話に登場する有翼の馬。ギリシャ語の「泉」に由来する。

後世になると、時代によって「靈感」「不死」「教養」「名声」などを象徴するようになる。

2019年度役員・委員等一覧

会 長：後藤 丹	著作権ワーキング：	会長諮問会議：安藤 政輝
副 会 長：加藤富美子 山名 敏之	代表 福本 康之	小西 潤子
事務局長：小野 亮祐	委員 近藤 晶子	佐々木正利
財務局長：海津 幸子	酒井 勇也	杉江 淑子
理 事：舟橋三十子（事務局担当）	高橋 豊	豊田 典子
渡会 純一（財務局担当）	中村 滋延	
安藤 珠希（総務担当）	選挙管理委員会：	参事：（事務局）近藤 晶子
澤田まゆみ（総務担当）	委員長 樫下 達也	似内裕美子
編集委員会：	委員 大澤 智恵	松井 萌
委員長 水戸 博道	田邊健太郎	安田 香
副委員長 渡辺 修身		
委員 大竹 紀子 豊田 典子	監事：	デザイン室長：奥 忍
中 磯子 長谷川正規	應和 恵子	（スタッフ：現在募集中）
三島 郁 宮本賢二郎	小川 有紀	

編集後記

過去最高の参加者数をもって開催された第17回（かきつばた）大会の余韻を、今年の長い梅雨が引き延ばしてくれたような7月でした。参加できなかった方もぜひこのニューズレターで、総会をはじめ基調講演やサロン、発表、懇親会の様子や本学会ならではの雰囲気を感じとっていただけたらと思います。

進みゆく情報社会とグローバル化の中で、本学会誌『音楽表現学』のJ-STAGE 掲載誌としての採択決定についてや、イギリスで演奏表現に焦点をあてた学会 SEMPRE のご案内なども掲載しています。また、ますます成長し続けている本学会の運営のためにも「事務局からの重要なお知らせとお願い」にお目通しをお願いいたします。

来年は東京オリンピック直前に開かれる第18回（ペガサス）大会です。本学会も音楽表現分野で日本をはじめ世界のあらゆる音楽についてのすばらしい研究発表の場となりますように。
(澤田まゆみ 記)